

所に行く眞鍮や銅等の針金類を造る處できれいな工場である。

五月十八日。晴。神戸の川崎造船所の見學。日曜で多くの仕事は休まれてゐて却つて見學には便利であつた。凡ての装置の大きな事は尤な事であつて船も今は四艘ばかり造りかけてあつた。此の船には鐵板をリベツチングで合せるのに米國では近頃エレクトリックウエルディングをして居るものもあるさうである。

午後〇時十五分に神戸を發して同二時に天王寺に着き此處より二見に向ふ。

五月十九日。晴。未明に起き出でて夫婦岩の處へ旭をながめに行く。午前八時二十一分に二見を發して鳥羽に向ふ。途中の景色は中々良い鳥羽驛の直ぐ側にきつたつてゐる日和山の上にある小さい家が無線電話局である。

鳥羽から一旦二見に歸り電車で山田に向ひ内宮と外宮とに順次に參拜した。

最後に此の旅行についての感想を一言すれば(1)普通人と同様の宿泊料を拂つたから宿屋の待遇も別に悪くなく(2)旅行の日數を無闇に減ずることもなかつたので身體に過勞を來すことなく充實した見學をなし得た事を私どもは非常に感謝して居るのである。

雜 報

(イ)理科卒業生茶話會八月一日午後三時ヨリ櫻蔭會事務

所ニ於テ理科卒業生茶話會ヲ開ク來會セラレタル客員會員四十一名ナリキ。

(ロ)保井氏ノ昇進。保井コノ氏永ラク助教授ニテ居ラレシガ本年八月教授ニ昇進セラレタリ。

(ハ)文部省夏季講習會。七月廿五日ヨリ八月二日マデ文部省夏季講習會開催セラル。講習課目ハ理科方面ニテハ化學ト植物トナリ。

化學。黒田教授講師トナラレ「色素に關する方面」食物及び營養に關する方面」ノ講義及ビ實驗アリ、豫定時數廿二時間。講習員約三十名ナリキ。

植物。矢部教授講師トナラレ「植物の生態」ニツキテ講習セラレタリ。講習時數廿一時間。講習員約二十名ナリキ。

會費領收報告 (大正八年三月ヨリ 同年九月末マデ)

六 圓

(八ヨリ十五ノ前半年迄) 歐陽雅琴

五 圓

(六ヨリ十二) 藤原ツタ (五ヨリ十一) 大山せつ 村上シヅエ

四圓八十錢

(八ヨリ十三) 下村ツル

四 圓

(八ヨリ十二) 朱瑞禎

三 圓

(五ヨリ八) 北村キミ (七ヨリ十) 星キイ

二圓二十錢

- (七ヨリ九) 松本ウラ
- 二 圓
- (六ヨリ八) 岡田けい 永井喜登
- 一圓八十錢
- (七ヨリ九半) 沼地キク (六ヨリ八不足) 竹田イシ
- 一圓六十錢
- (八、九) 中村せつ 井田敏子 太平文子
- 一圓二十錢
- (六、七) 神野ミキエ (七、八) 奥田フミ 猪俣ミチ
- (八、九半) 木津シゲ
- 一 圓
- (八追加九) 岡田ハナ 黒瀬フミ
- 八 十 錢
- (八) 太田ミネ 山地かつ 伊吹エミ 柳澤トキ
西山フサエ 渡部ヨネ 池田トキ 尾田英
- (九) 小澤キヨ
- 六 十 錢
- (八) (不足金二十錢) 山寺せい 鳥取ちかよ 岡田ハナ
平野ちよ 新井しづ 石井ふさ 佐野らく
鈴木信 小河テル 滋賀千代
- 四 十 錢
- (八、九、ノ追加) 木村茂枝

大正八年十二月十三日印刷

大正八年十二月十七日發行

(非賣品)

東京女子高等師範學校

學術談話會

理科部

東京女子高等師範學校内

編輯兼
發行人

平島權藏

東京市京橋區新富町一丁目六番地

印刷人

小西嘉三郎

東京市京橋區新富町一丁目六番地

印刷所

明正印刷株式會社

電話京橋(三五〇九)番